

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 宮崎大学

(2) 大学名

宮崎大学大学院

(3) 大学の位置

〒889-2192

宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

〒889-1692

宮崎県宮崎市清武町木原5200番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(スガヌマ タツオ) 菅沼 龍夫 (平成21年10月)		
研究科長	(マルヤマ マスギ) 丸山 眞杉 (平成26年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学獣医学総合研究科 医科学獣医科学専攻 (修士課程) 修士(医科学) 修士(動物医科学)	2 年	8 人	16 人	基礎となる学部等 なし

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	8 [若干名] [若干名]						2.00倍	
志願者数	19 (9) [3]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
受験者数	19 (9) [3]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
合格者数	16 (7) [3]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
B 入学者数	16 (7) [3]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]				
入学定員超過率 B/A	2.00		—					

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して
 ください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] 16	[-] -	[-] -	[-] -	
2年次			[-] -	[-] -	
計			[3] 16	[-] -	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	16人	0人	平成26年度	人	人		0%
合計	16人	0人					0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<医学獣医学総合研究科 医科学獣医科学専攻（修士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
研究 基盤 共通 科目	社会・医学倫理	1通	2			4						兼 1 兼任教員を専任教員に変更(26) 平成26年6月教員審査提出予定 丸塚准教授の辞職により授業科目担当変更(26) 平成26年6月教員審査提出予定
	生体構造学概論	1通	2			3	1	2				
	生体機能学概論	1通	2			5	1					
	病理・病態学概論	1通	2			6	±					
	人獣共通感染症学概論	1通	2			11						
	基礎細胞生物学	1通	2			1	3		1			
研究 基盤 選 択 共 通 科 目	社会環境疫学・医療統計学	1通		2		2	2					篠原助教の昇任により変更(26) 平成26年6月教員審査提出予定
	研究者のための英語演習	1通		2			2	1				
	国際交流支援コミュニケーション演習	1通		2			2	1				
	実験動物学	1通		2		4	1		1			
	獣医学概論	1通		2		5	10					
	臨床薬理・薬剤学	1通		2		2	2					
	健康スポーツ医学	1通		2		1	1					
	医療関連法規	1通		2		4						
	サイエンスコミュニケーション特論	1～2通		2		4						
	先端的医学獣医学特論	1～2通		2		2						
生 命 科 学 研 究 者 育 成 コ ー ス 別 研 究 科 目	分子組織細胞生物学演習	1～2通		2		1						兼 1 兼任教員を専任教員に変更(26) 平成26年6月教員審査提出予定
	超微形態学演習	1～2通		2		1						
	疼痛学入門	1～2通		2			1					
	分子神経科学演習	1～2通		2		1						
	生体制御解析学演習	1～2通		2		1	1					
	ゲノム科学演習	1～2通		2		1						
	腫瘍ゲノム発生演習	1～2通		2		1			3			
	生体システム制御学演習	1～2通		2		1	1		1			
	細胞情報機能学演習	1～2通		2								
	分子生命化学演習	1～2通		2			1					
	病態医化学演習	1～2通		2		1						
	生体情報制御学演習	1～2通		2		1	1					
	循環病理学演習	1～2通		2		1						
	腫瘍細胞生物学演習・実習	1～2通		2		1						
	病原・常在微生物学演習	1～2通		2		1			2			
	寄生生物学演習	1～2通		2		1	1		2			
	免疫生物学演習	1～2通		2		1						
	公衆衛生学演習	1～2通		2		1						
	法医解剖診断学演習	1～2通		2		1						
	医療情報学演習	1～2通		2		1						
	循環器・腎臓・消化器病学演習・実習	1～2通		2		1	1					
	病態修復学演習	1～2通		2		1	2					
	神経・呼吸器・内分泌代謝学演習	1～2通		2		1		1				
	ウイルス発癌病態解析学演習	1～2通		2		1						
	肝疾患病態制御演習	1～2通		2		1						
	腫瘍機能制御外科学演習	1～2通		2			1	2				
病態制御外科学演習	1～2通		2		1	1	1	2				

コース別研究科目	生命科学 研究者育成 コース	悪性腫瘍泌尿器科学演習	1～2通	2	1	1	1		兼 1 古川准教授の退職により授業科目担当変更(22) 平成26年6月教員審査提出予定 小玉准教授の辞職により授業科目担当変更(26) 平成26年6月教員審査提出予定 篠原助教の昇任により変更(26) 平成26年6月教員審査提出予定 小玉准教授の辞職により変更(26) 教員追加(26) 平成26年6月教員審査提出予定
		神経腫瘍学演習	1～2通	2	1	1	1		
		小児科学演習	1～2通	2	1	1	2		
		周産期脳障害の発症と予防演習	1～2通	2	1	1	2		
		神経・運動器・脊椎病態学演習	1～2通	2	1				
		皮膚科学演習	1～2通	2		1			
		聴覚生理・病態学演習	1～2通	2	1	1	2		
		顎口腔再建学演習	1～2通	2			1		
		眼科学演習	1～2通	2	1	1			
		画像診断学演習	1～2通	2		1	1		
		血管平滑筋反応学演習	1～2通	2	1				
		急性病態解析学演習	1～2通	2	1				
		神経生理学演習	1～2通	2	1				
		薬物動態学演習	1～2通	2	1				
		実験動物学演習	1～2通	2	1			1	
		動物比較生体構造学演習	1～2通	2		1			
		動物神経生理学演習	1～2通	2	1	2			
		内分泌ホルモンの生理・生化学演習	1～2通	2	1	1			
		生体内水分子輸送学演習	1～2通	2	1				
		比較病理学演習	1～2通	2	1	1			
		産業動物衛生学演習	1～2通	2	1				
		獣医病原細菌学演習	1～2通	2	1	1			
		食品由来感染症学演習	1～2通	2	1	1			
		獣医循環器画像診断学演習	1～2通	2		1			
		獣医心血管系腫瘍学演習	1～2通	2		1			
		動物臨床栄養学演習	1～2通	2	1			1	
		獣医繁殖内分泌学演習	1～2通	2	1				
		放射線基礎獣医学演習	1～2通	2	1	1			
		獣医神経疾患診断学演習	1～2通	2	1	1			
		獣医寄生虫学演習	1～2通	2		1			
		獣医機能生化学演習	1～2通	2		1			
		獣医麻酔学演習	1～2通	2	1				
		獣医肝胆道系疾患病態制御演習	1～2通	2		1			
獣医伝染病学演習	1～2通	2	1	1					
生命科学 研究	1～2通	8	46	16 17	1				
高度医療 関連 技術 養成 コース	神経・運動器・脊椎臨床医学演習	1～2通	2	1	1	1	2	関本助教の昇任により変更(26) 平成26年1月教員審査済 判定M可 黒木准教授の辞職により授業科目担当変更(26) 平成26年6月教員審査提出予定	
	眼科疾患学演習	1～2通	2	1	1				
	神経耳科学的検査法とリハビリテーション	1～2通	2	1	1	2			
	顎口腔機能病態学演習	1～2通	2			1			
	血液浄化療法学演習・実習	1～2通	2	1	1				
	病理診断学演習	1～2通	2	1					
	腫瘍形態学演習・実習	1～2通	2	1					
	専門技術学研究	1～2通	8	6		1			
小計(8科目)	—	8	14	0	6	5	3	2	

コース別 研究科目	生命倫理コーディネーター基礎演習	1～2通		2		1					
	疫学倫理コーディネーター基礎演習	1～2通		2		1					
	生殖倫理コーディネーター基礎演習	1～2通		2		1					
	医療サービスサイエンス基礎演習	1～2通		2		1					
	動物福祉コーディネーター基礎演習	1～2通		2		1					
	生命倫理コーディネーター研究	1～2通	8				1				
	小計（6科目）	—	8	10	0	5					

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成26年度に設置された大学等は設置時）より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
9	83	0	92	[9]	[83]	[]	[92]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	358,322 m ²	0m ²	0m ²	358,322 m ²				
	運動場用地	127,968 m ²	0m ²	0m ²	127,968 m ²				
	小 計	486,290 m ²	0m ²	0m ²	486,290 m ²				
	そ の 他	7,365,130 m ²	0m ²	0m ²	7,365,130 m ²				
	合 計	7,851,420 m ²	0m ²	0m ²	7,851,420 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	106,790m ² (106,790m ²)	0m ² (0m ²)	0m ² (0m ²)	106,790m ² (106,790m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	89室	37室	573室	7室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			退職による変更(26)			
	医学獣医学総合研究科 医科学獣医学科専攻		113 111 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体	
		医学獣医学 総合研究科	625,503 [185,839] (625,503 [185,839])	16,156 [4,755] (16,156 [4,755])	5,877 [5,877] (5,877 [5,877])	4,486 (4,486)	36,796 (36,796)		101 (101)
	計	625,503 [185,839] (625,503 [185,839])	16,156 [4,755] (16,156 [4,755])	5,877 [5,877] (5,877 [5,877])	4,486 (4,486)	36,796 (36,796)	101 (101)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	6,692 m ²		622 席		544,000冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	4,360m ²		武道館、弓道場、多目的クラウト、球技コート、テニスコート、フール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による。
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	宮崎大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育文化学部									
学校教育課程	4	150		600	学士（教育学）	1.04	平成20	宮崎市学園木花台西1丁目1番地	
人間社会課程	4	80		320	学士（教養）	1.04	平成20		
医学部									
医学科	6	110	3年次 10	645	学士（医学）	1.00	平成15	宮崎市清武町木原5200番地	
看護学科	4	60		260	学士（看護学）	1.00	平成15		
工学部									
環境応用化学科	4	58	3年次 10	174	学士（工学）	1.02	平成24	宮崎市学園木花台西1丁目1番地	平成24年度から 学生募集停止
社会環境システム工学科	4	53		159	学士（工学）	1.01	平成24		
環境応用化学科	4	49		147	学士（工学）	1.00	平成24		
機械設計システム工学科	4	54		162	学士（工学）	1.06	平成24		
電子物理工学科	4	53		159	学士（工学）	1.01	平成24		
電気システム工学科	4	49		147	学士（工学）	1.03	平成24		
情報システム工学科	4	54		162	学士（工学）	1.05	平成24		
学部共通				20					
材料物理工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成15		
物質環境化学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成15		
電気電子工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成15		
土木環境工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成15		
機械システム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成15		
情報システム工学科	4	—		—	学士（工学）	—	平成15		
農学部									
植物生産環境科学科	4	50		200	学士（農学）	1.03	平成22	宮崎市学園木花台西1丁目1番地	平成22年度から 学生募集停止
森林緑地環境科学科	4	50		200	学士（農学）	1.03	平成22		
応用生物科学科	4	55		220	学士（農学）	1.02	平成22		
海洋生物環境学科	4	30		120	学士（農学）	1.04	平成22		
畜産草地科学科	4	50		200	学士（農学）	1.03	平成22		
獣医学科	6	30		150	学士（獣医学）	1.04	平成22		
食料生産科学科	4	—		—	学士（農学）	—	平成15		
生物環境科学科	4	—		—	学士（農学）	—	平成15		
地域農業システム学科	4	—		—	学士（農学）	—	平成15		
応用生物科学科	4	—		—	学士（農学）	—	平成15		
獣医学科	6	—		—	学士（獣医学）	—	平成15		

大学の名称	宮崎大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
教育学研究科									
学校教育支援専攻 (修士課程)	2	8		18	修士(教育学)	1.05	平成20	宮崎市学園木花 台西1丁目1番 地	
教職実践開発専攻 (専門職学位課程)	2	28		56	教職修士 (専門職)	0.92	平成20		
看護学研究科									
看護学専攻 (修士課程)	2	10		10	修士(看護学)	1.00	平成26	宮崎市清武町木 原5200番地	平成26年度から 学生募集停止
医科学看護学研究科 (修士課程)									
医科学専攻	2	—		—	修士(医科学)	—	平成15		
看護学専攻	2	—		—	修士(看護学)	—	平成17		
工学研究科(修士課程)									
応用物理学専攻	2	17		34	修士(工学)	0.97	平成17	宮崎市学園木花 台西1丁目1番 地	
物質環境化学専攻	2	27		54	修士(工学)	0.90	平成17		
電気電子工学専攻	2	36		72	修士(工学)	0.95	平成15		
土木環境工学専攻	2	16		32	修士(工学)	1.00	平成15		
機械システム工学専攻	2	19		42	修士(工学)	1.15	平成15		
情報システム工学専攻	2	19		38	修士(工学)	0.89	平成17		
農学研究科(修士課程)									
農学専攻	2	68		68	修士(農学) 修士(水産学) 修士(学術)	1.11	平成26	宮崎市学園木花 台西1丁目1番 地	平成26年度から 学生募集停止
生物生産科学専攻	2	—		—	} 修士(農学) 修士(学術)	—	平成17		
地域資源管理科学専攻	2	—		—		—	平成17		
森林草地環境科学専攻	2	—		—		—	平成17		
水産科学専攻	2	—		—	修士(水産学) 修士(学術)	—	平成17		
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学) 修士(学術)	—	平成17		

大学の名称	宮崎大学大学院							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
医学獣医学総合研究科 医科学獣医科学専攻 (修士課程)	2	8		8	修士(医科学) 修士(動物医科学)	2.00	平成26	宮崎市学園木花 台西1丁目1番 地 宮崎市清武町木 原5200番地	
医学獣医学専攻 (博士課程)	4	23		92	博士(医学) 博士(獣医学)	1.17	平成22		
農学工学総合研究科 (博士後期課程)									
資源環境科学専攻	3	7		21	博士(農学) 博士(工学) 博士(学術)	1.04	平成19	宮崎市学園木花 台西1丁目1番 地	
生物機能応用科学専攻	3	4		12	博士(農学) 博士(工学) 博士(学術)	1.16	平成19		
物質・情報工学専攻	3	5		15	博士(工学)	1.06	平成19		
医学系研究科(博士課程)									
医学専攻	4	—		—	博士(医学)	—	平成20	宮崎市清武町木 原5200番地	平成22年度から 学生募集停止
細胞・器官系専攻	4	—		—	博士(医学)	—	平成15		
生体制御系専攻	4	—		—	博士(医学)	—	平成15		平成20年度から 学生募集停止
生体防衛機構系専攻	4	—		—	博士(医学)	—	平成15		
環境生態系専攻	4	—		—	博士(医学)	—	平成15		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)

- ・ 「平均定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「—」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学においては学科単位, 大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<医学獣医学総合研究科 医科学獣医科学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	菱川 善隆	平成26年4月	生体構造学概論※ 分子組織細胞生物学演習 生命科学研究						
専	教授	澤口 朗	平成26年4月	生体構造学概論※ 超微形態学演習 生命科学研究			澤口 朗			
専	教授	高宮 考悟	平成26年4月	生体機能学概論※ 分子神経科学演習 生命科学研究						
専	教授	丸山 真杉	平成26年4月	サイエンスコミュニケーション特論 生体制御解析学演習※ 生命科学研究						
専	教授	森下 和広	平成26年4月	生体機能学概論※ 先端の医学獣医学特論 腫瘍ゲノム発生演習※ 生命科学研究						
専	教授	西頭 英起	平成26年4月	生体機能学概論※ 基礎細胞生物学※ 生体システム制御学演習※ 生命科学研究						
専	教授	浅田 祐士郎	平成26年4月	病理・病態学概論※ 循環病理学演習 病理診断学演習 生命科学研究 専門技術学研究						
専	教授	片岡 寛章	平成26年4月	病理・病態学概論※ 腫瘍細胞生物学演習・実習 腫瘍形態学演習・実習 生命科学研究 専門技術学研究						
専	教授	林 哲也	平成26年4月	病理・病態学概論※ 人獣共通感染症学概論※ 病原・常在微生物学演習※ 生命科学研究						
専	教授	丸山 治彦	平成26年4月	病理・病態学概論※ 人獣共通感染症学概論※ 寄生物学演習※ 生命科学研究						
専	教授	佐藤 克明	平成26年4月	病理・病態学概論※ 免疫生物学演習 生命科学研究						

専	教授	黒田 嘉紀	平成26年4月	社会・医学倫理※ 社会環境疫学・医療統計学※ 医療関連法規※ 公衆衛生学演習 疫学倫理コーディネーター基礎演習 生命科学研究							
専	教授	湯川 修弘	平成26年4月	社会・医学倫理※ 医療関連法規※ 法医解剖診断学演習 生命科学研究							
専	教授	板井 孝一郎	平成26年4月	社会・医学倫理※ 生命倫理コーディネーター基礎演習 生命倫理コーディネーター研究							
専	教授	北村 和雄	平成26年4月	循環器・腎臓・消化器病 学演習・実習※ 血液浄化療法学演習・実習※ 生命科学研究 専門技術学研究							
専	教授	下田 和哉	平成26年4月	病態修復学演習※ 生命科学研究							
専	教授	中里 雅光	平成26年4月	神経・呼吸器・内分泌代 謝学演習※ 生命科学研究							
専	教授	岡山 昭彦	平成26年4月	ウイルス発癌病態解析学演習 生命科学研究							
専	教授	中村 都英	平成26年4月	病態制御外科学演習※ 生命科学研究							
専	教授	賀本 敏行	平成26年4月	悪性腫瘍泌尿器科学演習※ 生命科学研究							
専	教授	石田 康	平成26年4月	神経生理学演習 生命科学研究							
専	教授	竹島 秀雄	平成26年4月	神経腫瘍学演習※ 生命科学研究							
専	教授	布井 博幸	平成26年4月	小児科学演習※ 生命科学研究							
専	教授	鮫島 浩	平成26年4月	周産期脳障害の発症と 予防演習※ 生殖倫理コーディネー ター基礎演習 生命科学研究							
専	教授	帖佐 悦男	平成26年4月	健康スポーツ医学※ 神経・運動器・脊椎病態 学演習 神経・運動器・脊椎臨床 医学演習※ 生命科学研究 専門技術学研究			帖佐 悦男				
専	教授	直井 信久	平成26年4月	眼科学演習※ 眼科疾患学演習※ 生命科学研究 専門技術学研究							
専	教授	東野 哲也	平成26年4月	聴覚生理・病態学演習※ 神経耳科学的検査法と リハビリテーション※ 生命科学研究 専門技術学研究							
専	教授	恒吉 勇男	平成26年4月	血管平滑筋反応学演習 生命科学研究							
専	教授	落合 秀信	平成26年4月	急性病態解析学演習 生命科学研究							

専	教授	林 克裕	平成26年4月	生体構造学概論※ 臨床薬理・薬剤学※ 医療関連法規※ 肝疾患病態制御演習 生命科学研究						
専	教授	荒木 賢二	平成26年4月	社会・医学倫理※ 社会環境疫学・医療統計学※ 医療情報学演習 医療サービスサイエンス基礎演習 生命科学研究						
専	教授	有森 和彦	平成26年4月	臨床薬理・薬剤学※ 医療関連法規※ 薬物動態学演習 生命科学研究						
専	教授	加藤 文司	平成26年4月	生体情報制御学演習※ 生命科学研究						
専	教授	伊達 紫 <篠崎 紫>	平成26年4月	生体機能学概論※ 病態医学演習 生命科学研究			伊達 紫 <篠崎 紫>			
専	教授	越本 知大	平成26年4月	実験動物学※ 実験動物学演習※ 生命科学研究						
専	教授	剣持 直哉	平成26年4月	サイエンスコミュニケーション特論 ゲノム科学演習 生命科学研究						
専	教授	村上 昇	平成26年4月	実験動物学※ 獣医学概論※ 動物神経生理学演習※ 内分泌ホルモンの生理・生化学演習※ 生命科学研究			村上 昇			
専	教授	池田 正浩	平成26年4月	生体機能学概論※ 人獣共通感染症学概論※ 生体内水分子輸送学演習 生命科学研究						
専	教授	山口 良二	平成26年4月	病理・病態学概論※ 人獣共通感染症学概論※ サイエンスコミュニケーション特論 実験動物学※ 比較病理学演習※ 生命科学研究			山口 良二			
専	教授	末吉 益雄	平成26年4月	人獣共通感染症学概論※ 産業動物衛生学演習 生命科学研究						
専	教授	後藤 義孝	平成26年4月	人獣共通感染症学概論※ 先端的医学獣医学特論 獣医病原細菌学演習※ 生命科学研究						
専	教授	三澤 尚明	平成26年4月	人獣共通感染症学概論※ 食品由来感染症学演習※ 動物福祉コーディネーター基礎演習 生命科学研究						
専	教授	片本 宏	平成26年4月	人獣共通感染症学概論※ 獣医学概論※ サイエンスコミュニケーション特論 動物臨床栄養学演習※ 生命科学研究						

専	教授	大澤 健司	平成26年4月	人獣共通感染症学概論※ 獣医学概論※ 獣医繁殖内分泌学演習 生命科学研究						
専	教授	浅沼 武敏	平成26年4月	獣医学概論※ 放射線基礎獣医学演習※ 獣医神経疾患診断学演習※ 生命科学研究						
専	教授	永延 清和	平成26年4月	人獣共通感染症学概論※ 実験動物学※ 獣医学概論※ 獣医麻酔学演習 生命科学研究						
専	教授	乗峰 潤三	平成26年4月	人獣共通感染症学概論※ 獣医伝染病学演習※ 生命科学研究						
専	准教授	池田 哲也	平成26年4月	基礎細胞生物学※ 疼痛学入門 生命科学研究						
専	准教授	中島 融一	平成26年4月	実験動物学※ 生体制御解析学演習※						
専	准教授	高見 恭成	平成26年4月	生体機能学概論※ 生体システム制御学演習※						
兼担	教授	柳田 俊彦	平成26年4月	生体機能学概論※ 細胞情報機能学演習	専	教授	武谷 立	平成26年9月	生体機能学概論※ 細胞情報機能学演習 生命科学研究	兼任教員を専任教員に変更 (26) 平成26年6月教員審査提出予定
専	准教授	菊地 泰生	平成26年4月	寄生生物学演習※						
専	准教授	徐 岩	平成26年4月	基礎細胞生物学※ 分子生命化学演習 生命科学研究			徐 岩			
専	准教授	大桑 良彰	平成26年4月	社会環境疫学・医療統計学※						
専	准教授	横山 彰三	平成26年4月	研究者のための英語演習※ 国際交流支援コミュニケーション演習※						
専	准教授	Guest Michael Robert	平成26年4月	研究者のための英語演習※ 国際交流支援コミュニケーション演習※						
専	准教授	北 俊弘	平成26年4月	循環器・腎臓・消化器病学演習・実習※						
専	准教授	北中 明	平成26年4月	病態修復学演習※						
専	准教授	永田 賢治	平成26年4月	病態修復学演習※						
専	准教授	近藤 千博	平成26年4月	腫瘍機能制御外科学演習※ 生命科学研究						
専	准教授	上原 久生	平成26年4月	神経腫瘍学演習※						
専	准教授	盛武 浩	平成26年4月	小児科学演習※						
専	准教授	黒木 浩史	平成26年4月	神経・運動器・脊椎臨床医学演習※	専	教授	帖佐 悦男	平成26年9月	神経・運動器・脊椎臨床医学演習※	平成25年12月黒木准教授辞職に伴いオムニバス科目の受け持ち範囲の変更(26) 平成26年6月教員審査提出予定
専	准教授	天野 正宏	平成26年4月	皮膚科学演習 生命科学研究			天野 正宏			
専	准教授	中馬 秀樹	平成26年4月	眼科学演習※ 眼科疾患学演習※						

専	准教授	松田 圭二	平成26年4月	聴覚生理・病態学演習※ 神経耳科学的検査法と リハビリテーション※			松田 圭二			
専	准教授	小玉 隆男	平成26年4月	画像診断学演習※ 生命科学研究	専	講師	西井 龍一	平成26年9月	画像診断学演習※	平成26年3月小玉准教授退職 に伴いオムニバス科目担当教 員追加(26) 平成26年6月教員審査提出予 定
兼担	教授	金子 政時	平成26年4月	周産期脳障害の発症と 予防演習※						
専	准教授	丸塚 浩助	平成26年4月	病理・病態学概論※	専	准教授	佐藤 勇一郎	平成26年9月	病理・病態学概論※	平成26年3月丸塚准教授退職 に伴いオムニバス科目担当 教員追加(26) 平成26年6月教員審査提出予 定
専	准教授	鳥取部 光司	平成26年4月	健康スポーツ医学※ 神経・運動器・脊椎臨床 医学演習※						
専	准教授	佐藤 祐二	平成26年4月	血液浄化療法学演習・実習※						
専	准教授	長町 茂樹	平成26年4月	画像診断学演習※	専	准教授	長町 茂樹	平成26年9月	生命科学研究	平成26年3月小玉准教授退職 に伴い科目追加(26) 平成26年6月教員審査提出予 定
専	准教授	古川 誠志	平成26年4月	周産期脳障害の発症と 予防演習※	専	講師	古川 誠志	平成26年9月	周産期脳障害の発症と 予防演習※	平成26年3月古川准教授の退 職に伴い教員追加(26) 平成26年6月教員審査提出予 定
専	准教授	児玉 由紀	平成26年4月	周産期脳障害の発症と 予防演習※						
専	准教授	桑迫 健二	平成26年4月	生体情報制御学演習※						
専	准教授	保田 昌宏	平成26年4月	生体構造学概論※ 動物比較生体構造学演習 生命科学研究						
専	准教授	中原 桂子	平成26年4月	獣医学概論※ 動物神経生理学演習※ 内分泌ホルモンの生 理・生化学演習※ 生命科学研究						
専	准教授	平井 卓哉	平成26年4月	獣医学概論※ 比較病理学演習※ 生命科学研究						
専	准教授	渡邊 真治	平成26年4月	獣医学概論※ 獣医病原細菌学演習※ 生命科学研究						
専	准教授	山崎 渉	平成26年4月	獣医学概論※ 食品由来感染症学演習※ 生命科学研究						
専	准教授	日高 勇一	平成26年4月	獣医学概論※ 獣医循環器画像診断学演習 獣医心血管系腫瘍学演習 生命科学研究						
専	准教授	佐藤 裕之	平成26年4月	獣医学概論※ 放射線基礎獣医学演習※ 獣医神経疾患診断学演習※ 生命科学研究						
専	准教授	野中 成晃	平成26年4月	獣医学概論※ 獣医寄生虫学演習 生命科学研究						
専	准教授	西野 光一郎	平成26年4月	獣医学概論※ 獣医機能生化学演習 生命科学研究						

専	准教授	鳥巢 至道	平成26年4月	獣医学概論※ 獣医肝胆道系疾患病態 制御演習 生命科学研究						
専	准教授	関口 敏	平成26年4月	社会環境疫学・医療統計学※ 獣医学概論※ 獣医伝染病学演習※ 生命科学研究						
専	准教授	片山 哲郎	平成26年4月	動物神経生理学演習※ 生命科学研究						
専	准教授	本多 新	平成26年4月	基礎細胞生物学※			本多 新			
専	講師	日野 真一郎	平成26年4月	生体構造学概論※						
専	講師	豊嶋 典世	平成26年4月	生体構造学概論※						
専	講師	南部 みゆき	平成26年4月	研究者のための英語演習※ 国際交流支援コミュニ ケーション演習※						
専	講師	十枝内 厚次	平成26年4月	神経・呼吸器・内分泌代 謝学演習※						
専	講師	富田 雅樹	平成26年4月	病態制御外科学演習※	専	准教授	富田 雅樹	平成26年4月	病態制御外科学演習※	准教授昇任のため 平成26年1月教員審査済(26)
専	講師	月野 浩昌	平成26年4月	悪性腫瘍泌尿器科学演 習※						
専	講師	横上 聖貴	平成26年4月	神経腫瘍学演習※						
専	講師	澤田 浩武	平成26年4月	小児科学演習※						
専	講師	永田 順子	平成26年4月	顎口腔再建学演習 顎口腔機能病態学演習 生命科学研究 専門技術学研究						
専	講師	矢野 貴徳	平成26年4月	画像診断学演習※						
専	講師	大内田 次郎	平成26年4月	腫瘍機能制御外科学演 習※						
専	講師	長濱 博幸	平成26年4月	病態制御外科学演習※						
専	講師	鍋倉 隆	平成26年4月	聴覚生理・病態学演習※ 神経耳科学的検査法と リハビリテーション※						
専	講師	鳥原 康治	平成26年4月	聴覚生理・病態学演習※ 神経耳科学的検査法と リハビリテーション※						
専	講師	甲斐 真弘	平成26年4月	腫瘍機能制御外科学演 習※						
専	講師	高木 純一	平成26年4月	小児科学演習※						
専	助教	西片 一朗	平成26年4月	腫瘍ゲノム発生演習※						
専	助教	中畑 新吾	平成26年4月	腫瘍ゲノム発生演習※			中畑 新吾			
専	助教	兼田 加珠子	平成26年4月	腫瘍ゲノム発生演習※						
専	助教	菊池 秀彦	平成26年4月	生体システム制御学演習※						
専	助教	大岡 唯祐	平成26年4月	病原・常在微生物学演習※						

専	助教	吉田 彩子	平成26年4月	寄生生物学演習※						
専	助教	長安 英治	平成26年4月	寄生生物学演習※						
専	助教	関本 朝久	平成26年4月	神経・運動器・脊椎臨床医学演習※	専	講師	関本 朝久	平成26年4月	神経・運動器・脊椎臨床医学演習※	講師昇任のため(26)平成26年1月教員審査済
専	助教	濱田 浩朗	平成26年4月	神経・運動器・脊椎臨床医学演習※			濱田 浩朗			
専	助教	篠原 明男	平成26年4月	実験動物学※ 実験動物学演習※	専	准教授	篠原 明男	平成26年4月	実験動物学※ 実験動物学演習※	准教授昇任のため(26)平成26年6月教員審査提出予定
専	助教	小椋 義俊	平成26年4月	病原・常在微生物学演習※						
専	助教	和田 啓	平成26年4月	基礎細胞生物学※						
専	助教	阿野 仁志	平成26年4月	動物臨床栄養学演習※						

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
65	0	65	64	0	64	65	0
(65)	(0)	(65)	[Δ 1]	[0]	[Δ 1]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	黒木 浩史	平成25年12月31日退職
2	准教授	児玉 隆男	平成26年3月31日退職
3	准教授	丸塚 浩助	平成26年3月31日退職
4	准教授	古川 誠志	平成26年3月31日退職

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成26年6月に教員審査提出予定であり、審査以後に開講予定である。
なお、学生には不利益が生じないよう配慮している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (25年10月)	生命科学研究者育成コースにおいて取得する学位の選択について、入学時に研究指導を担当する専任教員と学生が協議して決定するとの記載が見受けられるが、学生の履修内容と作成する修士論文の内容によって、取得する学位を決定するよう、適切に改めること。	本研究科で履修を行う学生については、学生の履修状況と作成した修士論文の内容を勘案し、最終的に授与する学位を決定するようにする。(26)	なし
	養成する人材像などが学生にとってより分かりやすいものとなるよう、アドミッションポリシーについての文章を整理することが望ましい。	平成26年度入学者の意見もふまえ、学生にわかりやすい内容になるようにアドミッションポリシーについて検討を行い、来年度以降の入学試験募集要項へ反映できるようにする。(26)	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<医学獣医学総合研究科 医科学獣医科学専攻（修士課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	なし

- （注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成22年4月に医学獣医学総合研究科（博士課程）にFDに関する事項、その他必要な事項を審議するため、医学獣医学総合研究科運営委員会を設置しているため、修士課程についても、同運営委員会において審議する。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>定期的に運営委員会を開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>教務及び学生に関する事項、転入学・転教育コースに関する事項、将来構想に関する事項、FDに関する事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>定期的に運営委員会を開催し、実施内容、実施方法等について検討する予定である。</p> <p>b 実施方法</p> <p>定期的に運営委員会を開催し、実施内容、実施方法等について検討する予定である。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>現在のところなし。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>現在のところなし。</p>
--

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業実施後、授業担当教員毎にアンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・回収したアンケートの集計結果と学生の記載したコメントを取りまとめ教員へ配付し、フィードバックを行い、授業内容の改善に役立てている。
- ・回収したアンケートの集計結果と学生の記載したコメントを取りまとめ教員へ配付する。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年度に医学獣医学総合研究科に関する自己点検・評価を行うために、運営委員会にて評価項目等の検討を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

運営委員会において、実施方法、実施体制、公表時期・方法について検討する予定である。

b 公表方法

運営委員会において、実施方法、実施体制、公表時期・方法について検討する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

平成26年度に評価機関(大学評価・学位授与機構)の評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(26年 8月 1日)

○宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科運営委員会規程

〔平成 22 年 4 月 1 日
制 定〕

改正 平成 22 年 7 月 7 日

(趣旨)

第 1 条 この規程は、宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科委員会規程第 7 条第 3 項の規定に基づき、宮崎大学大学院医学獣医学総合研究科運営委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 研究科の教員人事に関する事項
- (2) 研究科の教務及び学生に関する事項
- (3) 学位審査、学位授与に関する事項
- (4) 研究科の入学、転入学、転教育コースに関する事項
- (5) 研究科の予算に関する事項
- (6) 研究科の将来構想に関する事項
- (7) 研究科の F D に関する事項
- (8) 研究科委員会から審議を付託された事項
- (9) その他委員会が必要とする事項

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 研究科長
 - (2) 副研究科長
 - (3) 各コース長
 - (4) 各コースを担当する専任教員 各 1 人
 - (5) 研究科長が必要と認める者
- 2 前項第 4 号の委員は、研究科長、副研究科長及びコース長が協議のうえ、研究科長が指名する。

(委員の任期)

第 4 条 前条第 4 号及び第 5 号の委員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 5 条 委員会に委員長を置き、研究科長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、副研究科長がその職務を代行する。

(議事)

第 6 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席をもって成立する。

- 2 議事は出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 3 委員に事故があるときは、当該コースからその代理人を出席させるものとする。

(委員以外の者の出席)

第 7 条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(報告)

第 8 条 委員会は、研究科委員会等に適宜検討の経過報告を行うものとする。

(事務)

第 9 条 委員会の事務は、医学部事務部において処理する。

附 則

この規程は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

- 1 この規程は、平成 22 年 7 月 7 日から施行する。ただし、第 3 条第 1 項第 5 号の改正規定は平成 22 年 5 月 14 日から適用する。
- 2 前項ただし書きにより選出された第 3 条第 1 項第 5 号委員の任期は、第 4 条第 1 項の規定にかかわらず、平成 23 年 3 月 31 日までとする。